

4月度新入会員のご紹介

会員は辞書の1ページ
どうぞよろしくお祈りします！！



【日立支部】
（一社）Smail Plus
代表理事
藤森 結花さん



【日立支部】
瀬谷幸伸事務所
代表
瀬谷 幸伸さん

あの人に会いに行きました♪



南西支部会員、常陽物産(株)会長の長岡徳樹さんに会いに行きました。茨城同友会の相談役であり、茨城に同友会を設立された大先輩のお一人です。83歳を迎えた現在も、現役バリバリの経営者で、本業の造園土木の他に、社会福祉法人の会長を務め、特別養護老人ホームや保育園を運営されています。

更に、常総市のインターチェンジの開発にも関わるなど、常に人と関わり、地域から必要とされ、アグレッシブに活動されています。そんな長岡さんのモットーは、常に考え、行動し続けること。「同友会で真剣に学んで、会社を良くしていこう」と後輩たちに向けてエールを送ってくれました！



FBページへのいいね！してね(*ω*)



Instagram始めました♪
フォローお願いします

会報誌や広報活動に関するご意見ご要望は
どんどん聞かせてください！！

◇編集後記◇

【ヴィクトリースーツ】このスーツを着るとなりたい自分になれる。自分に自信が持てる。夢が叶う。宣伝文句ではなく、顧客の間で自然と広まりこう呼ばれるようになったスーツです。このオーダーメイドスーツを販売しているのが「100年先も愛されるブランドとして存在していること」をビジョンとして掲げている【Re.muse】。このスーツを着ることで新しい体験や感情に出会い、自己実現のためのツールでありたいという想いが込められているそうです。創業社長の勝友美さんのことはTikTokで知りました。どんな質問にも躊躇なくスパッと答え、心と行動と言葉が一致しているから発言に迷いがなく力強い。多角的・俯瞰的に物事を見られるのは、まさに経験から得られる知見。夢を語り自立した大人の女性。私のあこがれる女性像そのものでした。講演会があると知ったとき→「どうしようかな…」→悩んだということは「行きたい」って気持ちがあったから→じゃあその気持ちに素直に従ってみよう！私にとってこのマインドチェンジは大きな一歩でした。やりたいことをやる。行動を起こすことで世界が広がり新たな道が見えてくる。そして奇跡が起こり…なんと講演会でツーショット写真を撮らせてもらえることに！200名近い参加者の中から選ばれるなんて！参加することを決めた自分を存分に褒めてあげたい！！これがシュートを打つってことだ！！自分が心からやりたいと思えるものや夢を探すことをあきらめないでという勝社長。「想いが未来を創る」という言葉。ありがたい姿に一歩でも近づくための努力をたくさんしよう。心に嘘をつかず素直に生きよう。自分と正面から向き合おう。夢を目標に変換してひとつずつ実践していこう。2022年、ヴィクトリースーツ買います！言葉にして実践します！（Shimo）



in目黒雅叙園

No.311号 2022年5月31日

DOYU IBARAKI



発行：茨城県中小企業家同友会
〒310-0851 水戸市千波町1918 セキショウ・ウェルビーイング福祉会館3階
Tel:029-243-8230
Fax:029-243-7225
Mail:info@ibaraki.doyu.jp

2022年度合同入社式・新入社員研修会



4月5日にホテルテラスザガーデン水戸にて、合同入社式と新入社員研修会が開催されました。新入社員として、会員企業10社から23名が参加し、付き添いの経営者・経営幹部なども含めて晴れやかに執り行われました。式典では、社員共育・共同求人委員長より、会社ごとに新入社員の名前を読み上げて紹介し、(有)エイトプランニングオフィスの稲橋敦俊さんから新入社員を代表して決意表明がありました。式典後、会場を移動して新入社員研修会を開催。今年は、各企業の経営者が講師となり、自社で取り入れている社員教育を実践する研修を取り入れました。アイスブレイクの後、(株)千成屋の矢内久子社長による、社会人としての心構えと挨拶・ビジネスマナーから研修がスタートしました。午後の研修は、(有)エイトプランニングオフィスの吉澤幸太社長から、「社会人としての第一歩」という形で新入社員としての在り方、(株)つくば食品の八巻大介社長からは、理念やお金について学びました。最後に新入社員からの今後へ向けての決意表明があり、経営者からもエールが送られ、新入社員が涙する一幕もありました。次回フォローアップ研修会は10月18日に開催されます。半年間実践を重ねた新入社員の皆さんにお会いするのが今から楽しみです。



4月例会報告

日立支部

4月6日(水) 日立シビックセンター
 報告者:八巻 大介さん (株)つくば食品 代表取締役
 『その安定、砂上の楼閣になってないか! ?』



県西支部の株式会社つくば食品八巻大介さんにご報告をいただきました。事業承継して8年、顧客も技術も確かなものになっている。求めるものの再現力は群を抜いてすばらしい。現状のビジネスモデルからあるべきつくば食品の姿のために現在ある再現力と未来のための提案力と販売力。新しいものの開発や販売、卸先を創るビジョンとそのための経営計画を明確に示すことが経営者として大切なことと改めて気づかされた例会でした。

(レポート:高橋秀幸さん)

各支部例会のご案内

茨城県中小企業家同友会
 日立支部 6月例会
Good by COVID-19!
 強みを封印された時、あなたは生き残れるか?
 日時: 2022年 6/1(水) 18:00~
 会場: 日立シビックセンター
 出席・欠席します。 役職 []

日立支部
 6/1(水) 18:00~
 日立シビックセンター
 田山 進一さん

水戸支部
 6/22(水) 18:00~
 福祉会館3F多目的
 星野 由季菜さん

茨城県中小企業家同友会日立支部6月例会
脱はんこ時代の襲来
 報告者 滑川 裕 氏
 有限会社スタンパノック 代表取締役
 茨城県中小企業家同友会 日立支部幹員
 7月6日(水) 18:00~

茨城県中小企業家同友会
 県西支部6月例会
 21世紀型企業を目指して!
例会報告者
 日時 6/15(水) 18:00~
県西支部
 6/15(水) 18:00~
 境町商工会館
 斎藤 哲生さん

ワンマン社長の息子と呼ばれて
 若林賢太郎さん
 2022年 6月9日(木) 18時~
ドラゴン支部
 6/9(木) 18:00~
 BOOMS
 若林 賢太郎さん

日立支部
 7/6(水) 18:00~
 日立シビックセンター
 滑川 裕さん

県西支部
 6/15(水) 18:00~
 境町商工会館
 斎藤 哲生さん

ドラゴン支部
 6/9(木) 18:00~
 BOOMS
 若林 賢太郎さん

参加申込はe.doyuから!!



事務局長サルタの会員訪問放浪記~第1弾~

第37期より茨城同友会事務局長となりました猿田花絵です。
 会員の皆さんことをもっともっと知りたい! 私のこともっとも知ってもらいたい!
 そんな想いで皆さんの会社にお邪魔させてもらっています。
 私からの連絡には「はい」か「イエス」か「喜んで」お答えください(*ω*)
 次はあなたの番です!!



西野 信弘さん

茨城同友会県央海浜支部所属の(株)西野精器製作所、西野信弘社長を訪ねました!
 西野精器製作所は、ゴマ粒大の微細精密加工からバスケットボールの高速アルミ切削まで、あらゆる試作ニーズに応える基礎加工技術の発信工場です。
 1989年に社長に就任した西野さんは、バブル崩壊の大不況を経験し、そこから幾多の外部環境の変化に対応しながら、2018年に設立50周年を迎え、2020年は新工場を設立。スピーディな対応を強みに事業を拡大していきました。
 「中小企業は、自社でどう付加価値と競争力を生み出していかか重要。今後も新しい設備を導入しながら、総合試作で競争力をつけ、お客様のニーズと環境変化に対応し、今後海外へ向けて、新たなチャレンジも検討していきたい」とビジョンを語ってくれました。



齋藤 督識さん

茨城同友会県央海浜支部所属、北関東外装(同)代表の齋藤督識さんを訪ねました。
 北関東外装は、住宅・店舗の外壁工事を行っている会社です。代表の齋藤さんは、20歳の頃、建築会社で現場監督を経験、紆余曲折を経て、北関東外装を立ち上げました。
 1枚20kgの外壁材取り付ける作業を炎天下で行う仕事でもあるので、体力づくりをされているということで、お話し中もプロテインを飲まれていました。見習わなければ!
 北関東外装は、工事レベルが高く、取引業者からのニーズも多いことから、今後社員の採用を検討されていることです。社員の採用・育成は中小企業にとって大きな課題です。
 齋藤さんは、会社を共に発展させる社員の採用を目指し、自社の方向性を確立するため、今期「経営指針を創る会」を受講され、どんな環境下であっても、未来を切り開く企業づくりに取り組んでいきます!



鈴木 光男さん

茨城同友会県央海浜支部所属の県央自動車(株)鈴木光男社長を訪ねました!
 県央自動車は、お客様第一主義で、正直&誠実に車に関する全てをサポートしている会社です。
 鈴木さんは、なんと元陸上自衛官! 自衛隊を辞めて、今までやったことがない仕事をするみようとしてサービスマンへ転身。しかし、自衛隊とは全く勝手が違う世界に、悪戦苦闘されます。自衛隊時代の挨拶でお客様を接客したら引かれてしまったとか...
 売り上げ最下位の中、独学で勉強を重ね、持ち前の行動力と人当たり良さで、あっという間に売り上げトップに。しかし、その急激すぎる躍進に今度は同僚から疎まれてしまい、だったら自分で仕事をするかと始めたのが現在の県央自動車です。
 プレハブ小屋からスタートとした会社も創業から20年以上、流行りに流されず、他社とは違う独自路線で、お客様の信頼と支持を獲得しています。今後は更にスタッフや設備を増やし、事業拡大を視野に入れているという鈴木さん。逆境をプラスに変える力で、これからも躍進続け、お客様・地域にとってなくてはならない会社として歩みを進めていきます。